

親子聖書日課

[日]主にあって男女差別はないので、ベールをつける必要はないと考える婦人がいました。パウロは、父権制が強い当時、主、男、女という順序を示し、教会の秩序を守ることを教えましたが、現代の教会は男女平等で、「自分で判断」してよいです。

[月]コリント教会は、分裂、酒乱、不品行などがあり、これが主の教会かと疑いたくなるほどでした。しかし、一つだけ救いがありました。それは主の晩餐式が行われていたのです。この式の度に、主の死を覚え、悔い改めに導かれたことでしょう。

[火]「イエスは主である」と告白できるのは、本人の理解力でも努力でもありません。ただ聖霊の働きによるのですから、聖霊が臨むように祈りましょう。私達の側ですべきことは、自分に与えられた賜物を用いて、主を大胆に証することです。

[水]奉仕は氷山に似ています。人の目に触れるのは、1割、あとの9割は海中にあるように目立ちません。しかし、それが教会を支えます。縁の下の力持ちになりましょう。人と比較せずに、主から与えられた賜物を用いるなら、教会は成長します。

[木]何をするにも、愛がなければ無に等しいです。この愛は、自分の努力で得られるものではありません。主の十字架によって明らかにされた神の愛です。主を信じ、その愛に身を委ねた時、主の愛が私達に働いて、自分も人も愛せるのです。

[金]私達に賜物が与えられたのは、教会を造り上げるためでした。決して自分の賜物を誇る為ではありません。「特に預言する賜物」伝道の方法を身につけると、人々が教会に導かれます。大胆に語れるように、伝道の賜物を「熱心に求め」ましょう。

[土]礼拝5分前なのに、遅れたり、挨拶したり、世間話に花を咲かせたり、意味不明な異言を語ったらどうでしょう。霊性は消え失せ、礼拝はぶち壊しです。教会の秩序は皆で守りましょう。誰でも教会で話して良いのですが、時と場所をわきまえましょう。



NO.1979 2026.8/30-9/5

名前

	聖書	問題	答え
日	I コリント 11:2-16	すべてのものが誰から出ましたか。	
月	11:17-34	私達は自分をどうしていれば、裁かれませんか。	
火	12:1-11	何によらなければ、誰も「イエスは主である」とは言えませんか。	
水	12:12-31	あなたがたはキリストの何ですか。	
木	12:31- 13:13	いつまでも残るものの中で最も大いなるものは何ですか。	
金	14:1-25	特に何をするために賜物を熱心に求めるべきですか。	
土	14:26-40	すべてを適切に、どのように行うべきですか。	
感想と祈りの課題			